

## ツキノワグマによる人身被害防止のために

### 1 今後の予測

今年度は春からクマの出没が多発しており、遭遇リスクが高い状態が継続していますが、この傾向は今後も続くことが予想されます。また、今年度は小屋等への侵入、ニワトリや登熟前の農作物への食害、クマとの交通事故の多発など、令和5年度と類似した状況も各地で確認されています。さらに、ブナの実が極めて少ない「大凶作」も予測されており（東北森林管理局、林業研究研修センター）、クマの行動範囲の拡大が懸念されます。

こうした状況から、**今年度も令和5年度のような秋の大量出没や人身被害の多発が危惧されます。**

なお、集落周辺にあるクルミやクリは実をつける可能性があり、それらを目当てにクマが頻繁に出没するおそれがあるため、例年以上にクマへの注意が必要です。

### 2 住民への注意喚起

住民一人ひとりに令和5年度並みの注意を払っていただく必要があります。改めて広く、**強い注意喚起**を行い、具体的な対策の周知をお願いします。

- ◎ 今年は令和5年度のような大量出没になるおそれがあります
- ◎ 季節を問わず、**いつでも・どこでも・誰でも**クマに会う可能性があります
- ◎ 基本の対策を徹底し、最高レベルの注意を払ってください

#### (1) 基本の対策

- ✓ 鈴やラジオ、スマホなどで音を立てて、人の存在をアピールしながら行動し、**クマとの鉢合わせを避ける**
- ✓ クマを目撃した時は、市町村や警察に連絡するとともに、クマダスを活用するなど**地域で情報共有**する
- ✓ 農作物をクマに食べられないよう農地を電気柵で囲うほか、**廃棄作物は適正に処分**する（電気柵の中に廃棄する、確実に埋却・焼却するなど）
- ✓ 米や米ぬか、収穫した農作物、生ゴミ、家畜飼料など、**クマが食べるものを食べられる状態で放置しない**（堅牢な小屋にしまう、電気柵で囲うなど）
- ✓ もし**小屋等に侵入された場合**は居座りの有無に関わらず、**速やかに市町村や警察に連絡**する（小屋等に侵入して食べ物を得る「成功体験」を積み重ねてしまうことで、最終的に家屋への侵入に発展するおそれがあり、迅速な捕獲等の対応が必要であるため）
- ✓ **小屋等の戸はこまめに閉め**、中にクマが入り込まないようにする
- ✓ 集落周辺のクリ、カキ等の**実のなる木**は、クマが実を食べに通わないよう、木全体

を電気柵で囲う、幹にトタンを巻くなどの方法で適正に管理し、実を利用しない場合は伐採・除去するなど、**早めの対策**を講じる（今年は熟す前の早い段階から食べに来る可能性が考えられる）

- ✓ 見通しの悪いところには近付かない、もしくは刈り払って**見通しを確保**する

## (2) もしもクマと出会ってしまったら

### ① 避難する

近くに建物や車など逃げ込める場所があれば速やかに避難する。

### ② クマ撃退スプレーを使用する

やぶ近くで農作業をするときやクリ拾いに行くときなど、クマとの遭遇リスクが高い場合には携行する。襲われそうになったらクマに向かって一気に噴射する。

### ③ 顔と頭を守る

避難先が無い、クマ撃退スプレーの噴射が間に合わないなどの場合、とにかく顔と頭を守る。腕で頭や首をかばい、顔を伏せることで、顔の大ケガや致命傷を防ぐ。